

すみれだより

涼しい秋の風が吹く季節となりました。夏の日中、雑木林から鳴り響く暑さを倍増させる蝉の鳴き声から、草むらからの涼やかな虫の鳴き声に替わりました。

秋の深まりとともに、その虫たちの声も薄れてきます。

きりぎりす 夜寒に秋の なるままに 弱るか声の 遠ざかりゆく
〈西行 法師〉

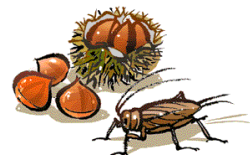
※ コオロギは、秋が深まり夜の寒さが増すにつれて、弱ってしまうのだろうか、その鳴き声も小さくなり、遠ざかっていく。

※ きりぎりすとは、コオロギの古称。キリギリスは、その鳴き声から機織虫（はたおりむし）と呼ばれていました。

〈10月の豆知識：秋の虫（昆虫）〉

童謡『虫の声』にも登場していますが、きれいな声で鳴く秋の虫を紹介します。（聞こえ方は、個人によってさまざまです。）

- | | |
|---------------|------------------|
| ・スズムシ | 「リーンリーン」 |
| ・マツムシ（黄土色の体） | 「チンチロチンチロチンチロリン」 |
| ・アオマツムシ（緑色の体） | 「リーリーリー」 |
| ・コオロギ | 「ピリリリリー」 |
| ・キリギリス | 「ギッチョン、ギリリリー」 |
| ・ウマオイ | 「スーッチョン」 |
| ・クツワムシ | 「ガチャガチャガチャ」 |
| ・カネタタキ | 「リンリンリン」 |
| ・カンタン | 「ルルルル」 |



きれいな声で鳴く秋の虫を紹介した後に適さない話題ですが、世界の人口が年々増えていて、世界的な食糧不足が心配される中、昆虫食が注目されています。日本では、以前から長野県、群馬県、福島県、宮城県の一部の地域では、イナゴの佃煮が食べられています。味は、海老に似ているとか・・・。

テレビのニュースでも取り上げられましたが、昆虫食ブームで昆虫食の自動販売機が作られ、全国で77か所（2020年調べ）設置されているそうです。

すみれ教室 10月の予定

月	火	水	木	金
			1	2
			体育活動 卓球	工作・実験
5	6	7	8	9
そうじ・HM 読書タイム	制作 (11月の掲示物)	集団ゲーム (ターゲットプレイゲーム)	体育活動 (総合体育館)	習字
12	13	14	15	16
スポーツの日	制作 (11月の掲示物)	栽培 すみれトーク	体育活動 卓球	ゲストティーチャー (花を使った制作)
19	20	21	22	23
そうじ・HM 読書タイム	ゲストティーチャー (切手ボランティア)	すみれゴール	親水公園散策	制作 (ハロウィンパーティー準備) ●十三夜●
26	27	28	29	30
そうじ・HM 読書タイム	ゲストティーチャー (プログラミング体験)	ハロウィンパーティー 	体育活動 (総合体育館)	制作 (掲示物の張り替え)

〈10月の豆知識：十三夜〉

十三夜は、9月号で紹介した中秋の十五夜に次いで美しい月とされていて、栗や豆の収穫期に当たるため『栗名月』『豆名月』と呼ばれることもあります。十三夜は中秋の十五夜(旧暦8月15日)の約一ヶ月後、旧暦9月13日で、現代の暦では年ごとに異なり、今年は10月23日(金)です。中秋の十五夜にお月見をする風習が庶民に広まったのは江戸時代とありますが、陰の象徴である月は「お陰さま」に通じると考えられ、生きる糧である作物に感謝する旧暦9月の「収穫祭」の意味も込めてお月見をするようになったそうです。十五夜は台風シーズンなので月が見られないことも多いのですが、十三夜の頃には天候が安定するため、「十三夜に曇りなし」という言葉もあります。